

# 小学校給食に対する教師の関心度 (第2報)

斎 藤 礼 子

Reiko Saito

How are the school teachers interested in the school food supply ?

(The 2nd, communication)

The present report is concerned with a survey on the intensities of the masters of the school food supplying centers and that of the school masters of independent system as well. The survey was practically performed by the diéticians of the respective institutions.

The authors conclude as follows :

## 1. The supplying center system

Generally, the masters are highly potent in these problems about the school food supply and actually active to deal with. But the activity in the field of the guidance of nutrition towards the schools allied is almost negligible. Therefore, the authors emphasize the necessity to improve. Of them, the masters in the Chūgoku-and Chūbū-districts are higher intense to be aware of it than in the Kanto-and Tohokudistricts, although the latter have more schools in which the school food supply is in practice.

## 2. Independent system

The elementary school masters are slightly interested in these problems. Namely, they are not active to open their opinions concerning the menus and not willing to observe their kitchens, to criticize the tastes of the foods, to look around the school rooms in which their pupils are eating, to appreciate the lunch with their pupils or to watch the program of the menus. But in the junior high schools they are somehow active.

3. The masters of the school food supplying centers are more potent than the masters of the elementary schools which have the independent school food supply system themselves. But the masters of the junior high schools of independent supply system are rather potent.

The authors have confirmed that the teachers are not so active to practice their opinions inspite of their interest in the school food supply as the authors' former reports.

The authors strongly hope that the masters concerned should be more active to take up these problems because of the importance of nutrition of school pupils.

I は じ め に

前回の調査によれば、全般に教師は学校給食が重要であることがわかっていても実際には給食指導が実施されていないところが多く、女教師より男教師にその点がみられた。また学童の給食に対する関心は友達相互間よりも教師による影響の方が大

表 1

	地 区 別	配布数	回収数	率
セ ン タ ー 方 式	北 海 道	46	31	67
	奥 羽	37	27	72
	関 東	69	50	72
	中 部	55	31	56
	近 畿	30	19	63
	中 間	24	20	83
	四 国	24	18	75
	九 州	45	27	60
	計	330	223	68
単 独 方 式	都 内	57	50	88
	近 県	19	19	100
	地 方	5	5	100
	計	81	74	91
	都内中学	20	13	65

であった。その結果から教師の給食への関心を高めるためには教育長、校長の関心度調査と共に栄養知識の普及を痛感した。

今回は、学校単独方式からセンター方式へ移行しつつある昨今、全国にわたり給食担当者からみたセンター方式による管理者の給食への関心度調査と共に学校単独方式による管理者の給食への関心度調査を行った。

II 調 査 対 象

1. 給食担当者（栄養士）の立場から見たセンター方式の管理者（表1の如く全国に対して実施）
2. 給食担当者（栄養士又は給食主任、調理作業員）から見た学校単独方式の管理者（表1）

III 調 査 内 容

1. センター方式（表2）
2. 学校単独方式（表3）

表 2

（センター方式） アンケート

記入者職業\_\_\_\_（男・女）

次の文より該当するものに○印をつけて下さい。  
〔○印ナンバーのところは、時々という欄に少しを入れてご解答下さい。〕

		は	い	いいえ	時 々
①	所長さんは給食に関心をもっていますか				
2	献立内容について所長さんは意見を述べられますか				
3	所長さんは給食室をのぞいてくださいますか				
4	所長さんは学童と同一の給食を食べますか				
5	食べた後、批評をしてくださいますか				
6	所長さんは学童の給食時間に教室を回ることがありますか				
7	所長さんは給食の残量について問われますか				
8	所長さんは材料購入に関係しますか				
9	給食運営委員会を行いますか				

斎藤：小学校給食に対する教師の関心度（第2報）

10	給食担当者（栄養士）として給食施設に関係していますか	イ. 間接的に関係している		
		ロ. 全然関係していない		
11	栄養指導資料を各校に流していますか			
12	資料について所長さんは意見を述べられますか			

表 3

（学校単独方式） アンケート

記入者職業\_\_\_\_（男・女）

次の文より該当するものに○印をつけて下さい。

〔○印ナンバーのところは、時々という欄に少しを入れてご解答下さい。〕

		は	い	い	い	え	時	々
①	校長先生は給食に関心をもっていますか							
2	献立内容について校長先生は意見を述べられますか							
3	校長先生は給食室をのぞいてくださいますか							
4	校長先生は学童と同一の給食を食べますか							
5	食べた後、批評してくださいますか							
6	校長先生は給食時間中に教室を回ることがありますか							
7	校長室に児童を招いて会食したことがありますか							
8	校長先生は教室で児童と会食したことがありますか							
9	給食運営委員会を行いますか							
10	給食担当者（栄養士）として給食施設設備に関係していますか	・間接的に関係している						
		・全然関係していない						
		・教育委員会が全面的にしている						
		・その他						
11	給食掲示板の内容について問われることがありますか							
⑫	保健体育主任、養護教諭、家庭科教諭が給食に協力して下さいますか							

#### IV 調査方法並びに調査期間

表2の調査について全国の各センター給食担当者に調査用紙を郵送し、返送のあったものにつき集計。表3の調査について教育委員会を通じて各校の給食担当者の協力を得た他、給食担当者直接に協力を得た。期間は、昭和44年7月上旬から7月中旬とし、台風の中心となっていた鹿児島だけをのぞいた。

#### V 集計並びに結果

1. アンケート用紙より、センター方式は全国を8地区に分け、又学校単独方式は都内、近県、地方の三群にわけてそれぞれ実数を集計した。（表1，表4，表5）

## 2. 統計処理は「採点法」を用いて行った。

センター方式

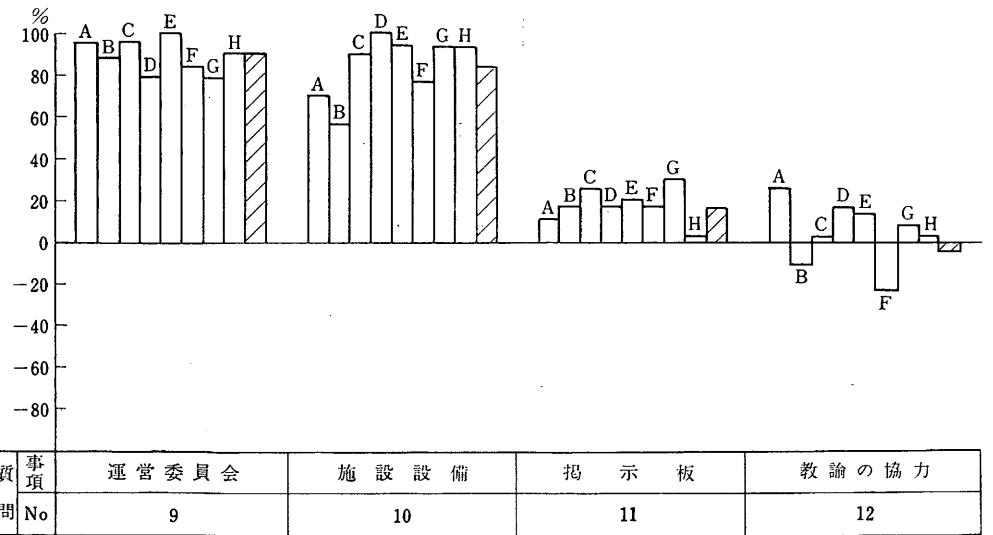
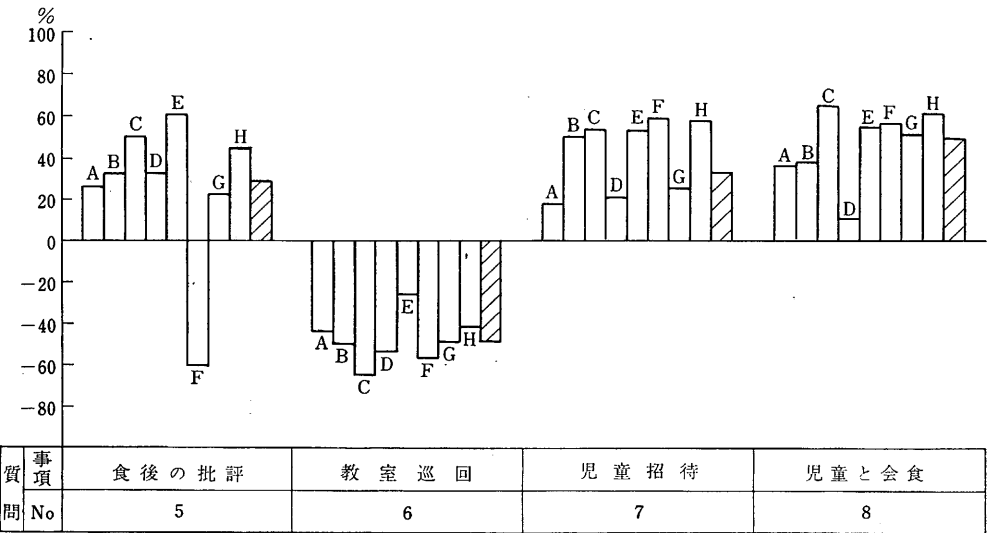
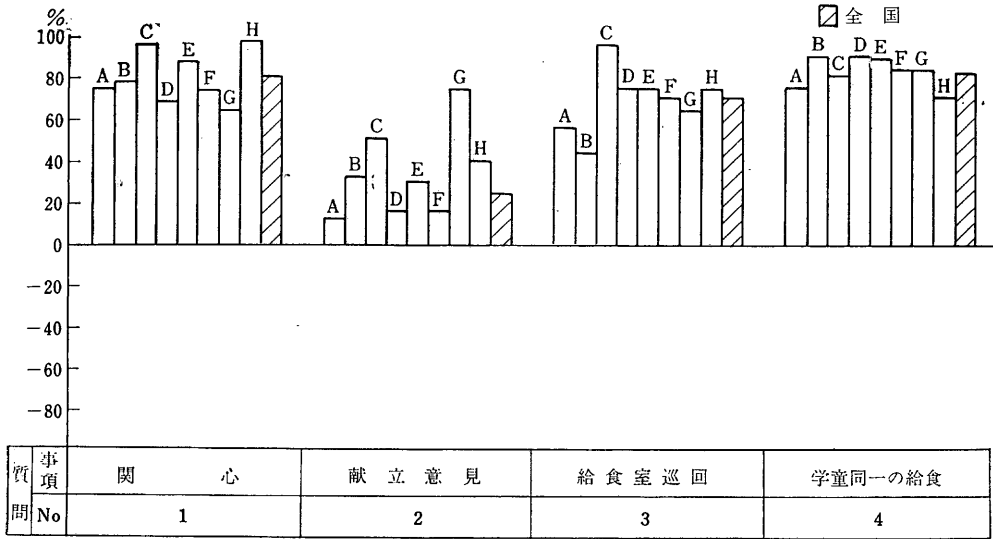
(表 4) (実数値) 関 心 度 (採点法による数値%)

No.		北海道	奥羽	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	全国	北海道	奥羽	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	全国
1	は い	30	18	39	28	15	19	14	21	183	97	63	74	87	68	95	78	74	79
	い い え	0	1	2	1	2	0	0	1	7									
2	は い	17	11	20	13	8	12	8	10	100	39	74	16	29	16	50	33	11	24
	い い え	5	9	12	5	5	2	2	7	47									
3	は い	25	19	37	23	14	19	9	18	164	74	63	70	74	74	95	44	56	69
	い い え	2	2	2	0	0	0	1	3	10									
4	は い	26	24	44	28	18	18	16	23	197	68	82	82	87	89	80	89	74	81
	い い え	5	2	3	1	1	2	0	3	17									
5	は い	18	12	11	20	10	10	6	12	99	45	22	60	61	32	50	33	26	29
	い い え	4	6	14	1	4	0	0	5	34									
6	は い	4	2	2	4	2	2	2	2	19	-42	-48	-56	-26	-53	-65	-50	-44	-48
	い い え	17	1	30	12	12	15	11	14	127									
7	は い	21	11	17	18	9	12	10	10	108	58	26	60	52	21	55	50	19	33
	い い え	3	4	14	2	5	1	1	5	35									
8	は い	23	18	36	23	8	16	11	17	152	61	52	56	55	11	65	39	37	49
	い い え	4	4	8	6	6	3	4	7	42									
9	は い	28	23	43	31	16	19	16	26	202	90	78	84	100	79	95	89	96	89
	い い え	0	2	1	0	1	0	0	0	4									
10	は い	30	26	44	30	19	19	14	23	205	94	93	76	94	100	90	56	70	84
	い い え	1	1	6	1	0	1	4	4	18									
11	は い	10	14	18	14	8	8	8	10	90	3	30	16	19	16	25	17	11	17
	い い え	9	6	10	8	5	3	5	7	53									
12	は い	10	11	9	13	10	6	5	7	71	3	7	-24	13	16	0	-11	26	-5
	い い え	9	9	21	9	7	6	7	14	82									

図1 関 心 度（センター方式）

A 九 州  
B 四 国  
C 中 国  
D 近 畿  
E 中 部  
F 関 東  
G 奥 羽  
H 北 海 道

□ 全 国



(表 5)

(実 数 値)

(採点法による数値%)

No.		都 内	近 県	地 方	全 国	中 学	都 内	近 県	地 方	全 国	中 学
1	は い	30	11	4	45	8	46	47	80	49	54
	い い え	7	2	0	9	1					
2	は い	12	6	2	20	1	-22	-26	20	-20	-77
	い い え	23	11	1	35	11					
3	は い	19	7	0	26	7	8	6	-20	5	38
	い い え	15	6	1	22	2					
4	は い	42	18	5	65	12	70	89	100	77	85
	い い え	7	1	0	8	1					
5	は い	8	7	0	15	4	-20	21	0	-8	77
	い い え	18	3	0	21	3					
6	は い	3	2	0	5	4	-24	-63	-80	-38	-77
	い い え	15	14	4	33	5					
7	は い	10	1	1	12	1	-60	-84	-60	-66	-85
	い い え	40	17	4	61	12					
8	は い	6	1	1	8	1	-66	-84	-60	-70	-85
	い い え	39	17	4	60	12					
9	は い	21	12	1	34	10	16	26	20	19	69
	い い え	13	7	0	20	1					
10	は い	44	14	0	58	13	2	2	0	69	0
	い い え	1	2	0	3	0					
11	は い	3	4	0	7	1	-58	-42	-80	-55	-54
	い い え	32	12	4	48	8					
12	は い	30	11	5	46	6	46	32	100	46	31
	い い え	7	5	0	12	2					

## VI ま と め

## 1. センター方式

全国を通じ多少の差はあるが給食に対する関心度は高く、実際に活動もしている。しかし、センターより各学校に対しての栄養教育面の活動が殆んどなされていない。この点は、盛んに実施拡張されつつあるセンター方式の現状からみて今後研究すべき問題と思われる。

なかでも中国、中部地方において給食に対する関心度が高く積極的に実施していることがうか

斎藤：小学校給食に対する教師の関心度（第2報）

図2 関心度（単独方式）

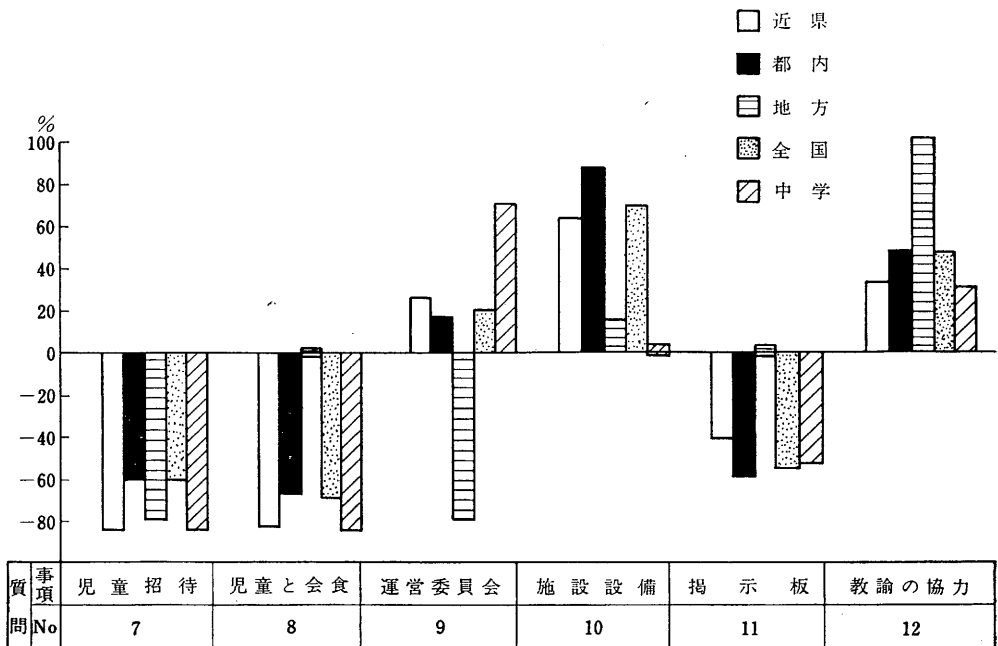
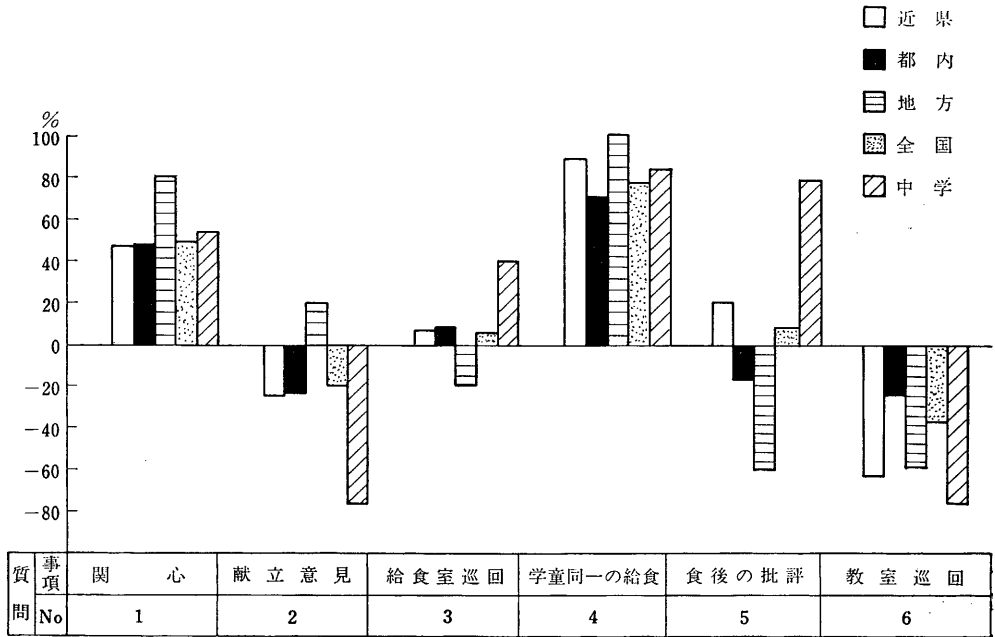
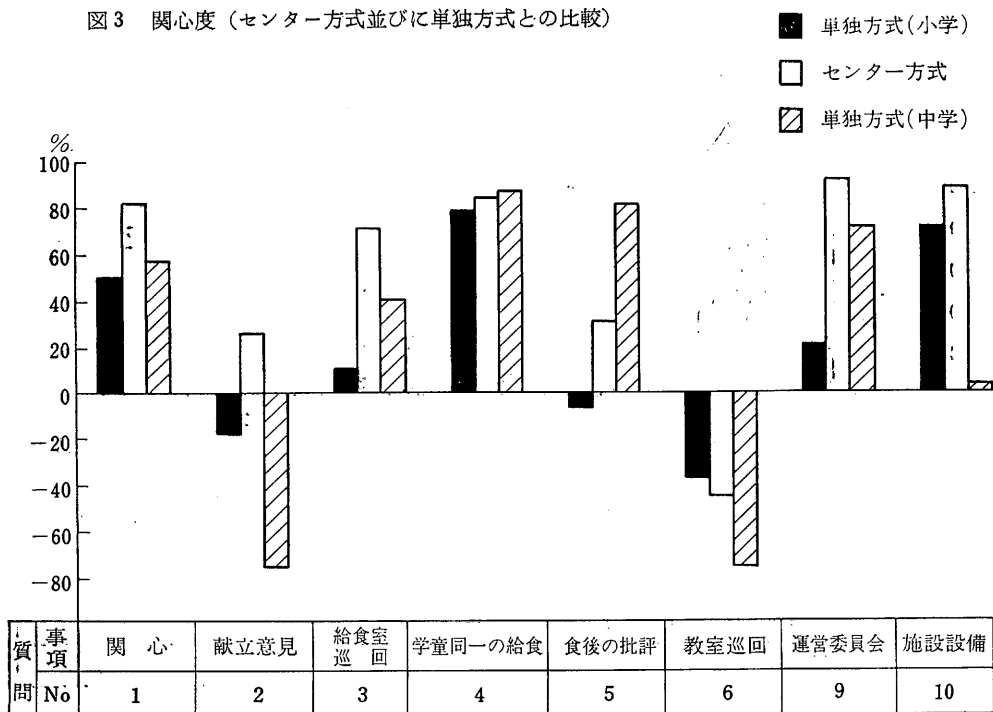


図3 関心度（センター方式並びに単独方式との比較）



がえるが、給食実施校の多い割合に関東、奥羽地方は以外と関心度が低いことが判明した。（表4、図1）

## 2. 学校単独方式

給食に対する関心はあるが、小学校の場合の実施面になると献立の内容についての意見をのべることもなく、また給食室をのぞいたり、食べたあと批評したり、給食時間中に教室を回ったり、児童との会食そして給食掲示板についての内容に対する意見など全然関心をよせていないが、中学校の場合は、給食室をのぞくとか、食べたあと批評するなどいづれに関心の高さを示している。（表5、図2）

## 3. センター方式の管理者は給食に対する関心度は高く、実施面も積極的であるが、学校単独方式の管理者の場合、行動面が全く乏しい、むしろ中学校の管理者の方が関心をよせていることが多くみられた。（表4、表5、図3）

前回の調査結果でみられたように教師達は学校給食に対する関心はもっているが実際の行動面が乏しかった点、今回の調査結果から同じことが判明した。管理者は発育盛りの児童生徒の栄養教育の重要性を認識して積極的にこの問題と取り組んでほしい。次回は給食に対する関心度を高めるための栄養教育基礎資料について研究しようと思っている。

終りに、この調査にあたりご助言、ご協力下さいました学校の食事研究会、阿部裕吉氏、本学金野新次教授、保高暁美副手、野沢紀子さん、全国の学校給食センター並びに単独方式校の給食担当者教育委員会栄養士の皆様、本稿のご校閲を賜りました本学関根秀三郎教授に感謝の意を表します。

（なお、本稿は、昭和44年10月24日、日本栄養改善学会第16回で発表したものの一部を含む。）